

第 2 次三木市バス交通網計画

三木市まちづくり部交通政策課

平成 20 年 3 月

第2次三木市バス交通網計画 目次

は じ め に	1
第1章 第1次三木市バス交通網計画	
1-1 第1次三木市バス交通網計画の概要	2
(1) バスターミナル計画	2
(2) 第1次三木市バス交通網計画	3
1-2 第1次三木市バス交通網計画実施状況	5
(1) バスターミナル計画	5
(2) 早期対応路線でのバス交通網計画	5
(3) バス交通利用へのPR	6
1-3 第1次三木市バス交通網計画の評価	8
(1) コミュニティバスの利用者数	8
(2) 路線バスの利用者数	10
(3) 第1次三木市バス交通網計画の評価	11
第2章 第2次三木市バス交通網策定に向けて	
2-1 地域交通政策の必要性	14
2-2 三木市バス交通に係る意見交換会	15
(1) 三木市バス交通に係る意見交換会	15
(2) 平成19年度意見交換会の開催状況	15
2-3 三木市バス交通連絡調整会議	18
2-4 総合計画と公共交通	18
第3章 第2次バス交通網計画	
3-1 基本的な考え方	20
3-2 第2次バス交通網計画	20
(1) 将来計画図	20
(2) 早期対応路線	25
第4章 第3次三木市バス交通網計画に向けて	27
付 録	35

は じ め に

三木市では少子高齢化が進行し、いわゆる交通弱者の移動手段の確保が重要な課題であり、新たな公共交通網の整備が必要となってきた。

そこで、平成18年度には、交通空白地の解消と利用しやすいバス交通網の構築を第1の課題として、「第1次三木市バス交通網計画」を策定した。

ところで、現在の公共交通を取り巻く状況は、モータリゼーションの進行による利用者の減少やランニングコストの高騰など、その維持が非常に厳しいものとなり、本市にあっては、大正時代より90年以上にわたり、人、貨物の輸送を担い、地域の発展に大きく貢献してきた三木鉄道が、乗客数の減少、鉄軌道による貨物輸送の衰退をうけ、平成19年10月1日に鉄道事業の廃止が決定し、平成20年3月末をもって廃線となる。これにより、三木鉄道が従来から担ってきた、「加古川方面」への公共交通による移動手段を失うこととなり、この代替交通手段の確保が急務となっている。

このように、公共交通を取り巻く状況は日々変化しており、この状況に即応する公共交通網の構築が必要となっている。

「第1次三木市バス交通網計画」は、「三木市公共交通維持活性化指針」の実施計画と位置づけ、主として新たなバス路線の検討を行ったが、「第2次三木市バス交通網計画」では、「第1次三木市バス交通網計画」による路線等の評価・検証にも踏み込んだ計画とする。

一方、平成19年度には、三木市総合計画を策定し、この中に掲げる「まちづくりの5つの柱」、「うるおい景観のまち」の1つとして、公共交通網の維持・活性化が位置づけられている。

そこで「第2次三木市バス交通網計画」では、公共交通を取り巻く現状を的確に把握し、市がめざす新たなまちづくりにも意識した、「バス交通網計画」とした。

第1章 第1次三木市バス交通網計画

- ① 人と環境にやさしいまちづくり
- ② 安心安全のまちづくり
- ③ 魅力と活力のまちづくり

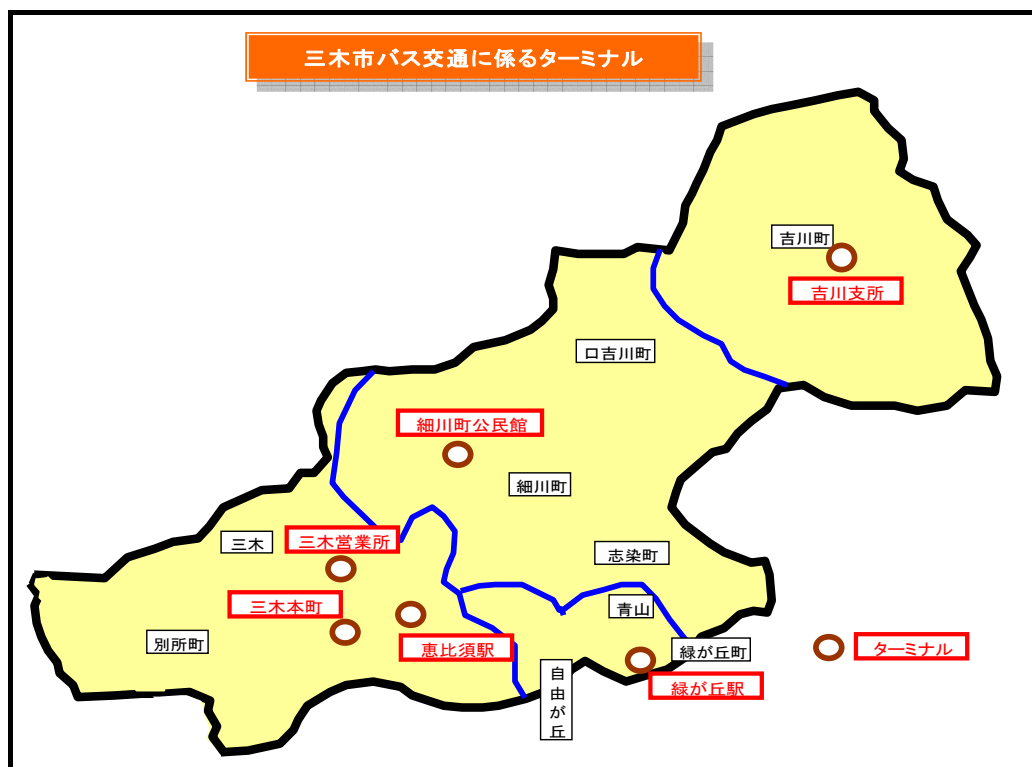
この3項目を実現するため地域交通政策を進める。地域交通政策を進める上で「市民ニーズ」の把握が必要不可欠であり、「市民ニーズ」の把握のため、「三木市バス交通に係る意見交換会」を開催し、市民との議論の中から、利用しやすいバス交通網を構築するため「第1次三木市バス交通網計画」を策定した。

この計画では、多くの公共交通機関の役割を分析することで、最も即効性がある移動手段として、バス交通に特化した交通網計画とした。

1-1 第1次三木市バス交通網計画の概要

(1) バスターミナル計画

「第1次三木市バス交通網計画」では、路線バス、ゾーン型バス、コミュニティバスなどそれぞれのバス路線に役割分担をさせ、バス交通の効率的な運行の実現と、バスと鉄道との結節を強化するため、以下のとおり6箇所の交通結節点（バスターミナル）を定めた。



○ 第1次三木市バス交通計画におけるバスターミナル

ターミナル	機能	整備状況
恵比須駅	市役所等への最寄駅	整備済
吉川支所	東の玄関口	施設整備要
緑が丘駅	南の玄関口	整備済
三木営業所	小野加東方面からの玄関口	整備済
三木本町	西神戸・明石方面からの玄関口	整備予定
細川町公民館	吉川地区と三木地区の結節点	一部整備済

(2) 第1次三木市バス交通網計画

第1次三木市バス交通網計画では、「三木市バス交通に係る意見交換会」などで市民と議論するなかで、利用しやすいバス交通とするため、具体的に次のようなバス路線の改編、試行運行実施などを提案した。

第1次計画では「三木市バス交通に係る意見交換会」の議論をもとに、以下のとおりをバス交通網計画とした。

路線 番号	ルート名	ルート詳細及び内容
①	みっきいバス【青山5⇄病院・営業所】	現在ルート増便及びダイヤ改正
②	みっきいバス【営業所⇄市民病院】	三木営業所～三木鉄道三木駅～三木本町～上の丸～恵比須駅～市役所～森林公園～市役所～ 恵比須駅～市民病院～三木営業所
③	みっきいバス【よかたん行】	現行ルートの維持及び発着所の検討 平日運行
④	【三木営業所⇄渡瀬線】	・ 渡瀬～吉川支所間を延伸 ・ 岩宮～東条町～上の丸 → 岩宮～三木高口～病院口～上の丸（一部変更）
⑤	【三木営業所⇄大二谷線】	・ 豊地小学校スクールバス路線バスの融合 ・ 【三木営業所（豊地）⇄大二谷線】の増便
⑥	【三木営業所⇄三田・岡場・淡河線】	路線バスのダイヤ変更 ← スクールバスとしての機能強化
⑦	別所地区循環第1ルート	三木営業所～鳥町～和田～正法寺～下石野～西這田～東這田～朝日ヶ丘～福井～森林公園～ 市役所～恵比須駅～市民病院～三木営
⑧	別所地区循環第2ルート	三木営業所～市民病院～恵比須駅～市役所～さつき台～小林～興治～相野
⑨	三木別所地区観光ルート	恵比須駅～上の丸～三木本町～朝日ヶ丘～道の駅～ホースランドパーク～森林公園～市役所～ 恵比須駅
⑩	緑が丘⇄防災公園ルート	緑が丘駅～青山3丁目～青山2丁目～青山1丁目～関西国際大学～防災公園
⑪	緑が丘・志染循環ルート	緑が丘駅～志染駅～吉田～安福田～志染中～青山5～緑が丘駅
⑫	細川⇄恵比須駅ルート	細川町公民館～細川中～平井～与呂木～恵比須駅
⑬	交通空白地解消	細川地区の一部

※ 上記路線うち、①～⑩を早期対応路線と位置づけ、平成19年度より試行運行に取り組んでいる路線である。

1－2 第1次三木市バス交通網計画の実施状況

(1) バスターミナル計画（未整備、新たな機能付加）

ターミナル	実 施 状 況	
	機能等	整備実施状況
恵比須駅	三木鉄道代替バスの発着場	平成 19 年度バス待機所の増設済
吉川支所	吉川支所周辺整備プロジェクトへの組込	平成 19 年度より整備開始
三木本町	バス待ち施設の整備	平成 20 年度より実施予定
細川町公民館	バス転回所の整備	平成 18 年度一部実施済

(2) 早期対応路線でのバス交通網計画

路線 番号	ルート名	実施状況
①	みっきいバス【青山5⇄病院・営業所】ルート変更	平成 19 年 4 月 1 日実施
②	みっきいバス【三木営業所⇄市民病院】ルート変更	〃
③	みっきいバス【よかたん行】（平日運行）	平成 19 年 12 月 6 日実施
④	【三木営業所⇄渡瀬線】（ルート変更） （支所への延伸）	平成 19 年 4 月 1 日実施
⑤	【三木営業所⇄大二谷線】（スクールバスと併用運行）	〃

⑥	【三木営業所⇄三田・岡場・淡河線】（ダイヤ改正）	〃
⑦	別所地区循環第1ルート（新規運行）	平成19年8月1日実施
⑧	別所地区循環第2ルート（新規運行）	〃
⑨	三木別所地区観光ルート（新規運行）	〃
⑩	緑が丘⇄防災公園ルート（新規運行）	平成19年4月1日実施

（3） バス交通利用へのPR

① 沿線各戸への時刻表配布

みっきいバス【青山5⇄市民病院・三木営業所、三木営業所⇄市民病院】	平成19年4月
路線バス（吉川町内）	平成19年5月
みっきいバス【別所第1ルート、別所第2ルート、三木別所観光ルート】	平成19年7月
みっきいバス【別所第1ルート】	平成19年8月
三木市吉川コミュニティバス	平成19年12月
みっきいバス【別所第1ルート、別所第2ルート、三木別所観光ルート】	平成19年12月

② バス交通利用促進及び普及啓発活動

活動内容	年月日
三木市老人会連合会に出向き利用促進及び普及啓発	平成19年11月2日
民生委員の会合に出向き利用促進及び普及啓発（三木地区）	平成19年11月7日

民生委員の会合に出向き利用促進及び普及啓発（別所地区）	平成 19 年 11 月 14 日
ホースランド秋祭とタイアップし、みっきいバス【三木別所観光ルート】の利用促進	平成 19 年 11 月 25 日

③ 情報発信による PR

広報みきに時刻表や乗客数の掲載
市ホームページにみっきいバス、吉川コミュニティバスの時刻表や乗客数の掲載
バス事業者ホームページにみっきいバスの時刻表の掲載

④ 乗車アンケート調査

みっきいバス別所第 1、第 2 ルートでのアンケート調査	平成 19 年 11 月 25 日 平成 19 年 11 月 27 日
------------------------------	--

※ アンケート結果は付録参照

1-3 第1次三木市バス交通網計画の評価

「第2次三木市バス交通網計画」を、市民にとってより利用しやすい交通網計画とするため、「第1次三木市バス交通網計画」の成果を、現段階（平成19年12月末）で評価することとした。

評価は各路線での乗客数を検証し、意見交換会において評価いただいた結果などを基に総括的に評価し、各路線の今後を決定する。

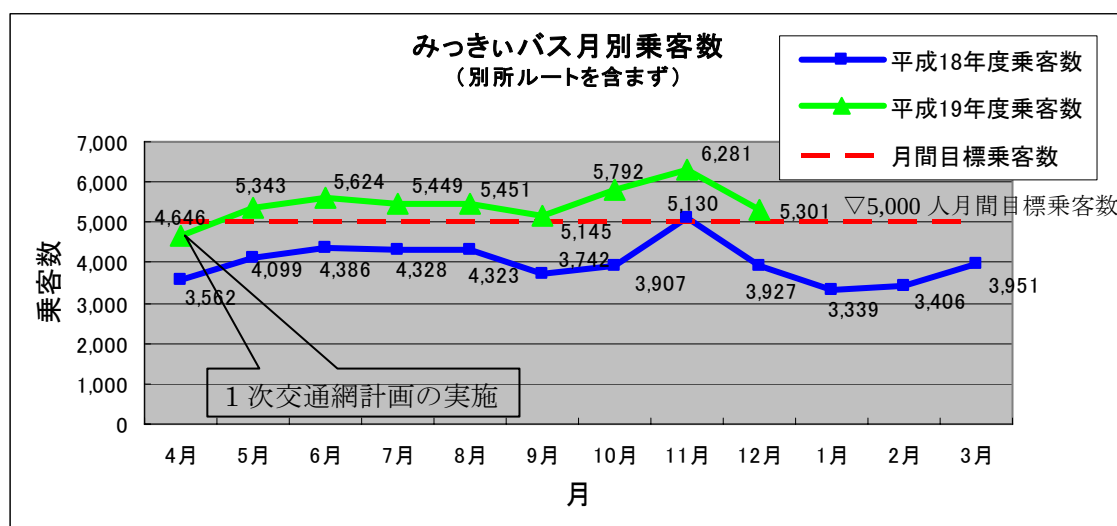
(1) コミュニティバスの利用者数

① みっきいバスの利用者（路線番号①、②）

みっきいバスの乗客数は、前年比で概ね約30%増となった。

これは、「第1次三木市バス交通網計画」では、増便やルートの改編により、公共施設や市民病院、また三木営業所周辺の大規模商業施設への移動手段としての機能強化により、利用しやすくなったことが大きな要因と考えられる。

また、月間目標乗客数を5,000人（別所ルートを除く）と定め、沿線各戸への時刻表の配布等のPRを行ったことも、乗客増に繋がったものと考えられる。

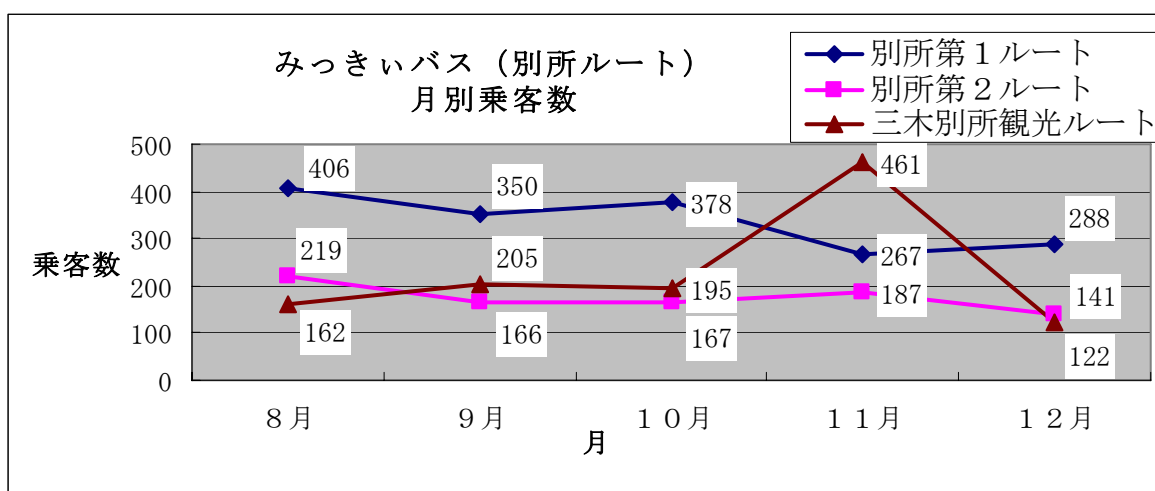


② みっきいバス利用者数（路線番号⑦、⑧、⑨）…【別所ルート】

別所ルートの利用者数は、運行開始以来あまり増加していない。

これは、週2日、1日3便という特殊な運行形態にも起因すると思われるが、「第2次三木市バス交通網計画」では、何らかの改編が必要である
と考える。

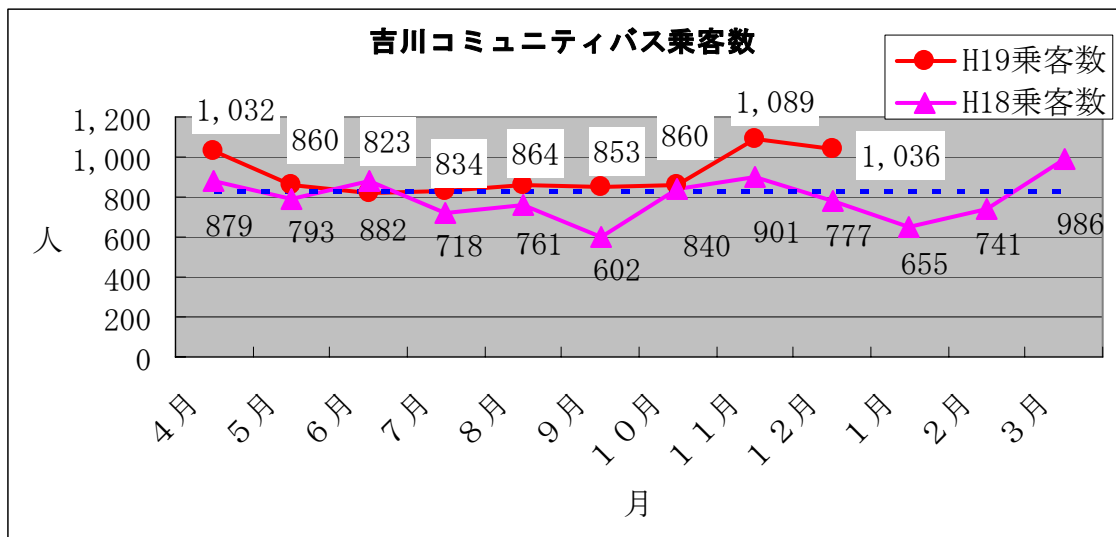
また、11月の【三木・別所観光ルート】の利用は、「三木金物まつり」や、「三木ホースランドパーク」で開催の『ホースランド秋祭』などによる各種イベントと協調してPRを行ったためと考える。



③ 三木市吉川コミュニティバスの利用者

吉川コミュニティバスは、年間目標乗客数を10,000人として、「広報みき」、時刻表の配布などで利用を呼びかけ、前年度同月比を上回っている。





(2) 路線バスの利用者数

「第1次三木市バス交通網計画」による、路線バスの利用者への効果の検証は、路線の改編を実施した【三木営業所⇄渡瀬（吉川支所）線】、【三木営業所⇄大二谷線】について評価を行う。

① 【三木営業所⇄渡瀬】の評価（路線番号 ④）

i) 吉川支所への延伸区間（渡瀬～吉川支所）での利用者数

乗客数	運行期間
1,991 人（165 人／月）	H18.10.1～H19.9.30

渡瀬から吉川支所への延伸区間での利用者は以上のとおりである。
この結果からみると、延伸の大きな効果を挙げているとは言えない。
しかし、合併後の期間が短いこと、三木・吉川間の交流促進という目的から、乗客数の推移を見守るとともに、路線のPRにつとめる。

ii) ルート変更による新設バス停での利用者数（人）

日平均乗降客数	調査期間
50 人	H19.10.1～H19.10.5（5日間）

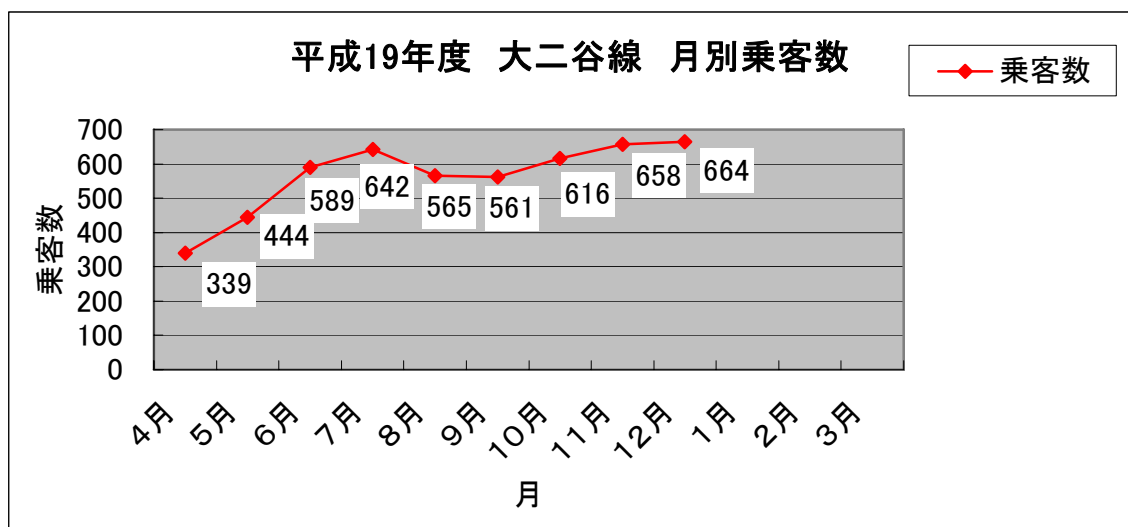
※ 新設バス停：三木高校口、市民病院口

（神姫バス側 乗降調査結果より）

三木高校・市民病院への迂回ルート中のバス停での日平均乗降客数は50人あり、ルート変更（バス停留所新設）による効果は大きい。

② 【三木営業所⇄大二谷線】の評価（路線番号⑤）

○ 平成 19 年度乗客数



○ 年度別乗客数

年 度	乗客数 (人)	摘 要
平成 18 年度	6,066	
平成 19 年度	6,800	見込人数

平成 19 年 4 月 1 日のダイヤ改正以降乗客数は伸びており、平成 18 年度の乗客数と比較しても、年間乗客数は増加しているため、一定の効果は上げている。

(3) 第 1 次三木市バス交通網計画の評価

① 意見交換会での評価

「三木市バス交通に係る意見交換会」において、早期対応路線について評価を行った。

主なものを以下に示す。

評価対象路線		評価内容
①、 ②	みっきいバス 【青山 5 ～三木営】 【三木営 ⇄市民病院】	・利便性が向上した。 ・乗客増に結びついた。 ・路線変更・増便の成功。

⑦、 ⑧、 ⑨	みっきいバス 【別所ルート】	・乗客数が運行開始以来減少している。 ・地区でもっとPRすべき。 ・（意見交換会のメンバーが）率先して利用したい。
⑤	【三木営 ⇔大二谷線】	・利便性が向上した。 ・乗客数が少ない。 ・利用するように地域での呼掛けが必要。
⑥	【三木営 ⇔三田・岡場】	・（ダイヤ改正により）小学生の通学に便利となった。

② 総 評

「第1次三木市バス交通網計画」は、市民とともに既存のバス交通の課題や問題点を掘起し、利用しやすいバス交通とは何かを議論することにより、策定したものである。

既存路線、特にコミュニティバスについては、市民ニーズが何であるのか、市民は何处へ行きたいのかを把握することにより、路線の改編を行い、大きな効果を得ている。

また、コミュニティバスの新規路線（【別所ルート】）については、**実際の運行ルート、バス停の位置を市民自ら考えることで、自らが走らせたバスとしての意識から、人口密度の薄い地域を、週2日、一日3往復という変則的な運行ダイヤにも関わらず、路線維持基準（平均乗車密度2.0）を満たしている。**

また、11月期の【三木別所観光ルート】のように、**各種施設でのイベントと協調したPRが必要である**と考える。

③ 今後の運行

第1次三木市バス交通網計画に基づく路線の試行運行の検証や、意見交換会での評価を基に、各路線の試行運行を以下のとおりとする。

番号	路 線	今 後
①	みっきいバス【青山5⇔病院・営業所】	継 続
②	みっきいバス【三木営業所⇔市民病院】	継 続
③	みっきいバス【よかたん行】	12月より運行開始のため継続

④	【三木営業所 ⇄渡瀬線】	(ルート変更)	継 続
		(支所への延伸)	継 続
⑤	【三木営業所⇄大二谷線】 (スクールバスと併用運行)	再編を検討	
⑥	【三木営⇄三田・岡場・淡河】	現行のダイヤを維持	
⑦	別所第1ルート (新規運行)	再編を検討	
⑧	別所第2ルート (新規運行)	再編を検討	
⑨	三木別所地区観光ルート (新規運行)	再編を検討	
⑩	緑が丘⇄防災公園ルート	現行のダイヤを維持	
⑪	緑が丘・志染循環ルート	必要性について議論を継続	
⑫	細川⇄恵比須駅ルート	必要性について議論を継続	
⑬	交通空白地解消	議論を継続	

第2章 第2次三木市バス交通網策定に向けて

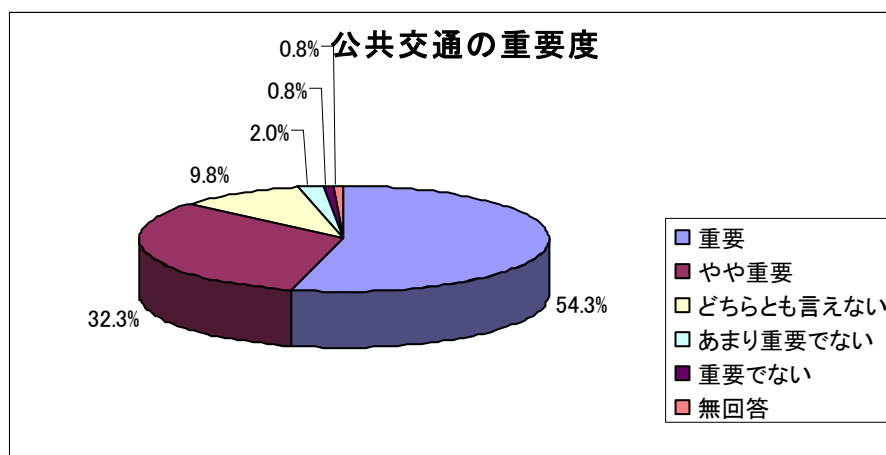
2-1 地域交通政策の必要性

平成19年度に、三木市では「総合計画基本計画」を策定した。総合計画を策定するにあたり、市内10地区でタウンミーティングを開催するとともに、市民3,500名にアンケート調査を行った。

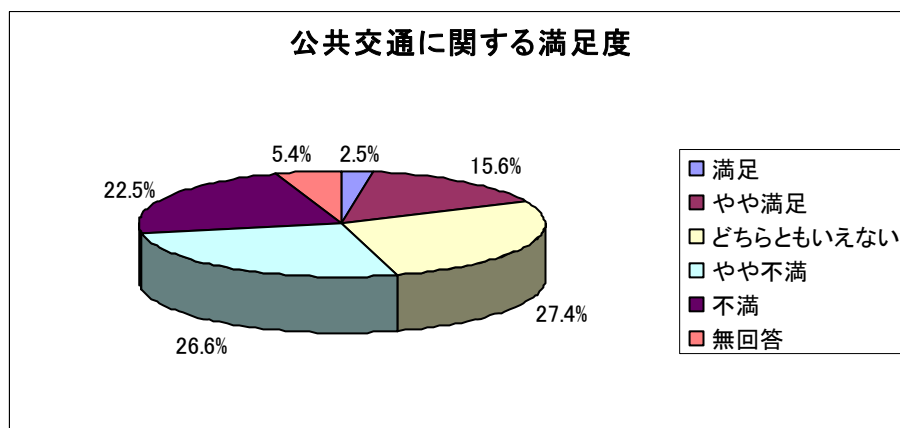
このアンケート中に、公共交通に関する重要度と満足度という調査項目がある。

このアンケート結果を以下に示す。

問 公共交通の重要度は



問 公共交通の満足度は



重要度については市民の約87%が「重要」若しくは「やや重要」と考えているにもかかわらず、約50%が「不満」「やや不満」に感じている。

この結果は、現在の公共交通が市民ニーズの外にあるということで、公共交通に対する取組「地域交通政策」の必要性を物語る。

2-2 三木市バス交通に係る意見交換会

(1) 三木市バス交通に係る意見交換会

「第1次三木市バス交通網計画」では、**地域交通政策を実施するためには、市民ニーズの把握が必要不可欠**であることを述べた。

市民アンケートの結果からも明らかなように、市民が公共交通を重要と感じている反面、その現状に満足していない。

そこで、市民が求めている公共交通とは何かということを、市民と議論し、「第2次三木市バス交通網計画」に反映するため、平成19年度も「三木市バス交通に係る意見交換会」を継続して開催した。

(2) 平成19年度意見交換会の開催状況

ブ ロ ッ ク	メンバー数 (名)	回 数 (回)
三木・別所	21	5 (6)
三 木 南	12	3 (4)
志染・細川・口吉川	22	2 (3)
緑が丘・自由が丘・青山	20	2 (3)
吉 川	11	2 (3)
計		14 (19)

※ () は平成19年度開催予定回数

○ 平成19年度意見交換会の内容を以下に示す。

平成１９年度 三木市バス交通に係る意見交換会開催状況

ブロック	三木地区 別所地区	三木南地区	志染地区 細川地区 口吉川地区	緑が丘 自由が丘 青山地区	吉川地区
構成 メンバー	２１名	１２名	２２名	２０名	１１名
	各種団体（区長協議会・老人会・婦人会）、高齢者、女性、障害者又は、そのご家族、障害者施設の関係者、自動車を運転しない方、小中学生の保護者、公民館活動を行っている方など				
実施状況	第１回（別所地区のみ） （平成１９年４月２４日） 内容：みっきいバス別所 ルートのルート案策 定。 第２回（別所地区のみ） （平成１９年６月１５日） 内容：みっきいバス別所 ルートの試行運行 第３回（三木地区のみ） （平成１９年７月３０日）	第１回 （平成１９年７月１２日） 内容：第１次三木市バス 交通網計画。 公共交通の問題点 及び利用し易いバス 交通 第２回 （平成１９年１１月２日） 内容：具体的なバス交通 網（素案）づくり（地 図に記入） 第３回 （平成２０年２月１９日）	第１回 （平成１９年７月１０日） 内容：第１次三木市バス 交通網計画 新たな課題の掘起 し 第２回 （平成１９年１０月２４日） 内容：課題の絞込み	第１回 （平成１９年７月２０日） 内容：第１次三木市バス 交通網計画 みっきいバスの現 状について 新たな課題の掘起 し 第２回 （平成１９年１１月１３日） 内容：みっきいバス（青 山５～三木宮）の問 題点	第１回 （平成１９年７月２６日） 内容：第１次三木市バス 交通網計画。 バス交通の問題点 について 第２回 （平成１９年１１月２９日） 内容：コミュニティバス の名称変更 吉川庁舎～三ノ宮 のダイヤ改正

	内容：みっきいバス三木地区縦貫ルート of 現状と新たな課題の掘起し。 第4回（三木・別所地区） （平成19年10月28日） 内容：みっきいバスの乗客数の現状。 別所第1ルート of 変更。 三木鉄道代替バス 第5回（別所地区のみ） （平成19年1月18日） 内容：みっきいバス別所第1ルート of 変更。 三木鉄道代替バス	内容：バス路線（素案） of 問題点			
実施予定	第6回（三木・別所地区） （平成20年3月） 内容：第2次三木市バス交通網計画	第4回（予定） （平成20年3月） 内容：第2次三木市バス交通網計画	第3回（予定） （平成20年3月） 内容：第2次三木市バス交通網計画	第3回（予定） （平成20年3月） 内容：第2次三木市バス交通網計画	第3回（予定） （平成20年3月） 内容：第2次三木市バス交通網計画
摘 要	みっきいバス別所第1・第2ルート of でのアンケート調査	バス路線（案） of での試走			

2-3 三木市バス交通連絡調整会議

市では、市民が利用しやすいバス交通網とするため行政とバス事業者との意見交換の場、「三木市バス交通連絡調整会議」を開催している。

これは、市民ニーズをバス事業者に伝えるとともに、市民、行政、バス事業者がバス路線に関する課題や問題点を、共通認識とするためである。

「三木市バス交通連絡調整会議」の開催状況を以下に記す。

開催	開催日	協議内容
第1回	H19. 4. 16	・ 第1次三木市バス交通網の実施に向けて
第2回	H19. 6. 21	・ みっきいバス別所ルートの試行運行について ・ 三木鉄道代替バスの運行について
第3回	H19. 8. 21	・ みっきいバスよかたん行平日便について ・ 吉川コミュニティバスのルート変更について
第4回	H19. 11. 7	・ 三木鉄道代替バスについて ・ みっきいバス車内広告の有料化について
第5回	H19. 3 (予定)	・ 第2次三木市バス交通網計画について

2-4 総合計画と公共交通

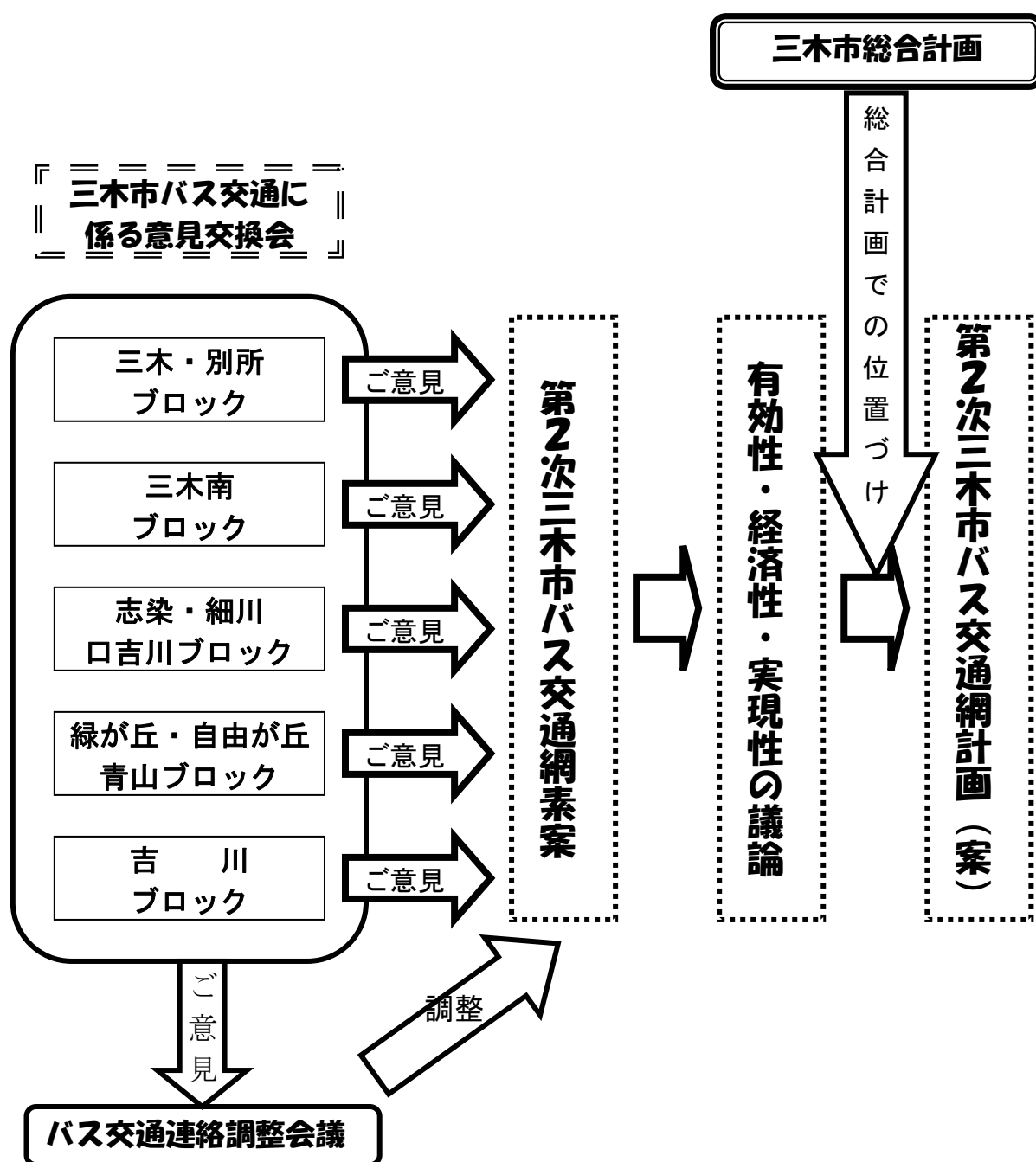
市では、平成19年度に総合計画基本計画を策定した。

公共交通は総合計画の第3節「うるおい景観のまち」の＜政策17＞に以下のとおり位置づけられている。

政策17	公共交通機関の利便性の向上を図り、安心して移動できるまちをつくる。
------	-----------------------------------

※ 総合計画基本計画（公共交通関連）は付録1参照

第2次三木市バス交通網計画策定イメージ図



※ 新たに三木南地区が発足したため、平成 19 年度より三木南地区を 1 ブロックとして、5 ブロックで意見交換会を開催した。

第3章 第2次三木市バス交通網計画

3-1 基本的な考え方

前章でも記したが、市民の約50%が現在の公共交通に満足していない(市民アンケート結果より)。

しかし、経済性・効率性などを考えると、全ての市民に満足のいく公共交通網は不可能と考える。

従って以下の考え方を基本に、計画を策定すべきと考える。

① 市勢に根ざした必要最低限の整備を行う

② 公共交通空白地の解消に重点をおく

また、本年度策定した「三木市総合計画基本計画」に基づき、市が目指すまちづくりに寄与することを意識したバス交通網計画とした。

3-2 第2次三木市バス交通網計画

「第2次三木市バス交通網計画」では、前計画によるバスターミナルの検討、現行のコミュニティバスや路線バスの改善、新たなコミュニティバス試行運行を実施するため、地域の市民と協働で運行計画を策定する。

また、既存のバスターミナルの再整備や早期に必要な試行運行についても順次実施する。

さらに、平成20年3月末には三木鉄道が廃線となることから、三木鉄道が担ってきた姫路・加古川方面への交通手段の確保が急務となっており、その代替交通も本計画に盛り込んでいる。

(1) 将来計画

① 第2次三木市バス交通網計画

市では、第2章にある「三木市バス交通に係る意見交換会」において出された課題の解決のため、市民と議論した結果を第2次三木市バス交通網計画(路線)とした。

また、市が策定した総合計画基本計画との関わりを明確とすることで、市が目指すまちづくりに寄与するバス交通網計画となっているかを検証する。

第2次バス交通網計画

i) 路線一覧表

路線 番号	ルート名	ルート詳細及び内容	三木市総合 計画基本計画 政策17【施策11】	摘 要
⑤	【三木営 ～大二谷】線	・再編検討（第1次計画の見直し）	地域交通対策事業 イ	路線バス 別図－3
⑦	みつきいバス 【別所第1ルート】	・再編検討（第1次計画の見直し） ・下石野～正法寺～和田～鳥町～大村 ～三木営業所～市民病院～恵比須駅～市役所 ～清水～朝日ヶ丘	地域交通対策事業 ウ	コミュニティバス 別図－2
⑧	みつきいバス 【別所第2ルート】	・再編検討（第1次計画の見直し）	地域交通対策事業 ウ	コミュニティバス 別図－2
⑨	みつきいバス 【三木別所観光】	・再編検討（第1次計画の見直し）	地域交通対策事業 ウ	コミュニティバス 別図－2
⑫	細川⇄恵比須駅	・恵比須駅～与呂木～与呂木～青葉台～平井 ～細川中～細川町公民館 (第1次計画から継続検討)	地域交通対策事業 ウ	コミュニティバス 別図－4
⑭	三木鉄道 代替バス	・恵比須駅～市役所～三木本町～三木鉄道三木駅 ～高木～東這田～西這田～花尻～石野 ～下石野～宗佐～国包～JR厄神駅	交通企画事業 ウ	路線バス（新規） 別図－3
⑮	三木南 ⇄恵比須駅	・緑が丘駅～広野～広野小学校～小林 ～三木南交流センター～さつき台 ～三木山総合公園～市役所～恵比須駅	地域交通対策事業 ウ	コミュニティバス 別図－4

⑯	吉川 コミュニティバス	・みつきいバスへの統合	地域交通対策事業 ウ	コミュニティバス 別図－２
		・ルート変更 (吉川ＩＣバス停駐車場への乗り入れ)		
⑰	情報公園都市線	・緑が丘駅～青山５～志染公民館前～井上 ～御坂～戸田～情報公園都市	交通企画事業 ア	路線バス 別図－３
⑱	【山崎～三ノ宮】線 (吉川ＩＣバス停経由)	・高速バスの運行	地域交通対策事業 オ	路線バス 別図－３
⑲	【吉川支所 ～三ノ宮】線	三ノ宮→吉川方面へのダイヤ改正	地域交通対策事業 オ	路線バス 別図－５
⑳	【恵比須 ～三ノ宮】線延伸	・路線の一部のさつき台へ延伸 ・路線の一部変更 (志染バイパス・青山５丁目経由)	地域交通対策事業 オ	路線バス 別図－５

※ Ｐ２９～Ｐ３４に計画図（別図）を示す。

② バスターミナル

i) 第1次三木市バス交通網計画によるバスターミナル

「第2次バス交通網計画」では「第1次計画」を引継以下の6箇所バスターミナルとする。

ターミナル	機能
恵比須駅	市役所等への最寄駅、三木鉄道代替バス発着点
吉川支所	東の玄関口
緑が丘駅	南の玄関口
三木営業所	小野加東方面からの玄関口
三木本町	西神戸・明石方面からの玄関口
細川町公民館	吉川地区と三木地区の結節点

ii) 新たな拠点づくり（西の玄関口）

市では、別所地区を「美しい別所 ふれあいとにぎわいのまち」、「人が巡り 人が遊ぶ にぎわいのまちづくり…地域交通を便利にする」（総合計画基本計画 地域づくり計画）としている。

また、三木鉄道代替バスの運行が開始されることもあり、西へ向かう新たな拠点の必要性について、意見交換会などで市民とともに議論していきたい。

③ バス停の環境整備

「三木市バス交通に係る意見交換会」等では、バス交通網のみならず、バスを利用する環境（バス停の環境）についても、課題であるとの意見が多く出された。

バス路線維持には、多くの市民が利用することが不可欠である。多くの市民が快適にかつ、安全にバス交通が利用できるように、以下のとおりのバス停について整備若しくは、道路管理者との協議を行うこととした。

i) 乗降客の多いバス停（停留所）の環境改善

バス停（留）所名	環境改善策
三木本町	駐輪場・トイレの設置
福有橋（神戸電鉄三木駅前）	

※ バスベイ バスがバス停留所で乗客待ちを行う車線

ii) バス停留所での段差解消（歩道の切下）

場	所	市内各所
---	---	------

iii) 交通量の多い道路にあるバス停のバス待スペースの確保
（道路管理者との協議）

④ サービスの向上

路線バスへのＩＣカードシステムの配備が完了したことを受けて、一般向け回数券が廃止された。

このため、利用者の利便性向上のため、みっきいバスへのＩＣカードシステム（ニコパ）を導入する。

(2) 早期対応路線

① 早期対応路線

平成 20 年度（一部平成 19 年度）より以下の路線について運行並びに再編を検討する。

路線 番号	ルート名	ルート詳細及び内容
⑥	【三木営～大二谷】線	ダイヤ改正 (第 1 次計画の見直し)
⑦	みっきいバス 【別所第 1 ルート】	○ ルート・ダイヤ改正 (三木鉄道代替バス運行開始による改編) (第 1 次計画の見直し)
⑧	みっきいバス 【別所第 2 ルート】	○ ダイヤ改正 (第 1 次計画の見直し)
⑨	みっきいバス 【三木別所観光ルート】	○ ダイヤ改正 (第 1 次計画の見直し)
⑭	三木鉄道代替バス	新規路線
⑯	吉川コミュニティバス	吉川コミュニティバスの名称変更 (みっきいバスへの名称変更)
⑲	情報公園都市線	平成 19 年度より試行運行
⑳	【山崎～三ノ宮】線 (吉川 I C バス停経由)	平成 19 年度より運行開始

※ 早期対応路線については、市が主体となって運行するコミュニティバスを中心に、意見交換会での議論や、「第 1 次三木市バス交通網計画」の評価を踏まえて路線選定を行った。

② バスターミナル

三木鉄道代替バスの発着所としての機能を付加した恵比須駅については、平成 19 年度に改修を行った。

吉川支所については「吉川支所周辺整備事業」で平成 19 年度より整備中である。

③ 早期対応路線の評価

i) 三木市公共交通維持活性化基本指針に基づく評価

早期対応路線については、第1次三木市バス交通網計画でも述べた、「三木市公共交通維持活性化基本指針」に基づき評価を行う。

ii) 「三木市バス交通に係る意見交換会」での評価

各地区の対象路線の実情を自ら認識してもらい、問題意識を市と共有するとともに、バス利用の意識を高めていただくため、意見交換会での評価を行う。

第4章 第3次三木市バス交通網計画に向けて

平成18年度より、「三木市バス交通に係る意見交換会」などを通じて、市民と協働で「第1次三木市バス交通網計画」、「第2次三木市バス交通網計画」を策定した。

平成20年度には、三木市の「公共交通網計画」というべき「第3次三木市バス交通網計画」を策定することとなるが、引続き、市民とともに「意見交換会」などを通じて策定していきたい。

また、「第3次三木市バス交通網計画」は、以下の点についても意識した、交通網計画としたい。

① 交通空白地の解消

平成18年度より、三木市バス交通網計画を策定し、計画に基づきコミュニティバスの運行などにより、交通空白地の解消を行ってきた。

しかし、市内には未だ交通空白地が残されていることから、「第3次三木市バス交通網計画」では、更なる交通空白地の解消を目指し、路線の改編等により、効果的に交通空白地の解消を目指したい。

② バス交通の維持基準の検討

現在、「三木市公共交通維持活性化基本指針」に基づき、バス交通の維持基準を定めている。しかし、乗客数の減少、燃料費の高騰などにより年々バス交通に係る運行経費が増加している。

これに伴い、市の交通政策に要する経費も年々増加傾向にある。

また、平成19年度より県の新行財政構造改革推進方策（新行革プラン）が実施され、平成21年度からは、交通政策に係る市町の更なる負担増が見込まれる。

このため、無策のままでは、市の財政を大きな負荷となりうる可能性がある。

従って、バス交通の維持基準について、再度精査し、効率的運行が可能となるよう検討したい。

i) コミュニティバスの維持基準

- （仮）コミュニティバスアセスメント指針（注1）の活用
- 市の政策（総合計画）との関り

ii) 路線バス（市単独補助路線）の運行基準

③ 神戸電鉄とバス交通網

「第1次三木市バス交通網計画」、「第2次三木市バス交通網計画」では、鉄道を中心とした地域交通政策が難しいことから、バス交通に特化した交通網計画としてきた。

しかし、三木鉄道が平成20年3月末で廃止された後は、三木市唯一の鉄軌道となり、神戸方面への主要な交通機関である神戸電鉄を、維持する必要がある。このため、第3次バス交通網計画では、神戸電鉄活性化にも意識した「交通網計画」としたい。

④ 公共交通利用促進への方策

- i) 公共交通利用促進のPR
- ii) パークアンドライドの可能性

⑤ 新たな運行形態の研究

- i) スクールバスとの混乗
- ii) 福祉バス
- iii) デマンド型バス

(注1) (仮) コミュニティバスアセスメント指針

現在、兵庫県ではコミュニティバス運行に関する指針「(仮) コミバスアセスメント指針」を策定している。

これは、全国のコミュニティバスの事例を調査するとともに、コミュニティバスを運行している兵庫県下18市町の聞き取り調査を行い、コミュニティバスの課題を整理・分析し、その評価基準を提案し、路線の再編や休廃止の指針を策定するものである。

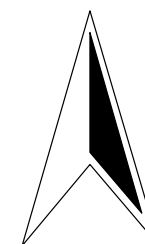
(注2) デマンドバス

基本路線の外に迂回ルートを設定し、利用者がいる場合に迂回ルートを走行するなど、デマンド(需要)に応じて弾力的なサービスを行うバスです。

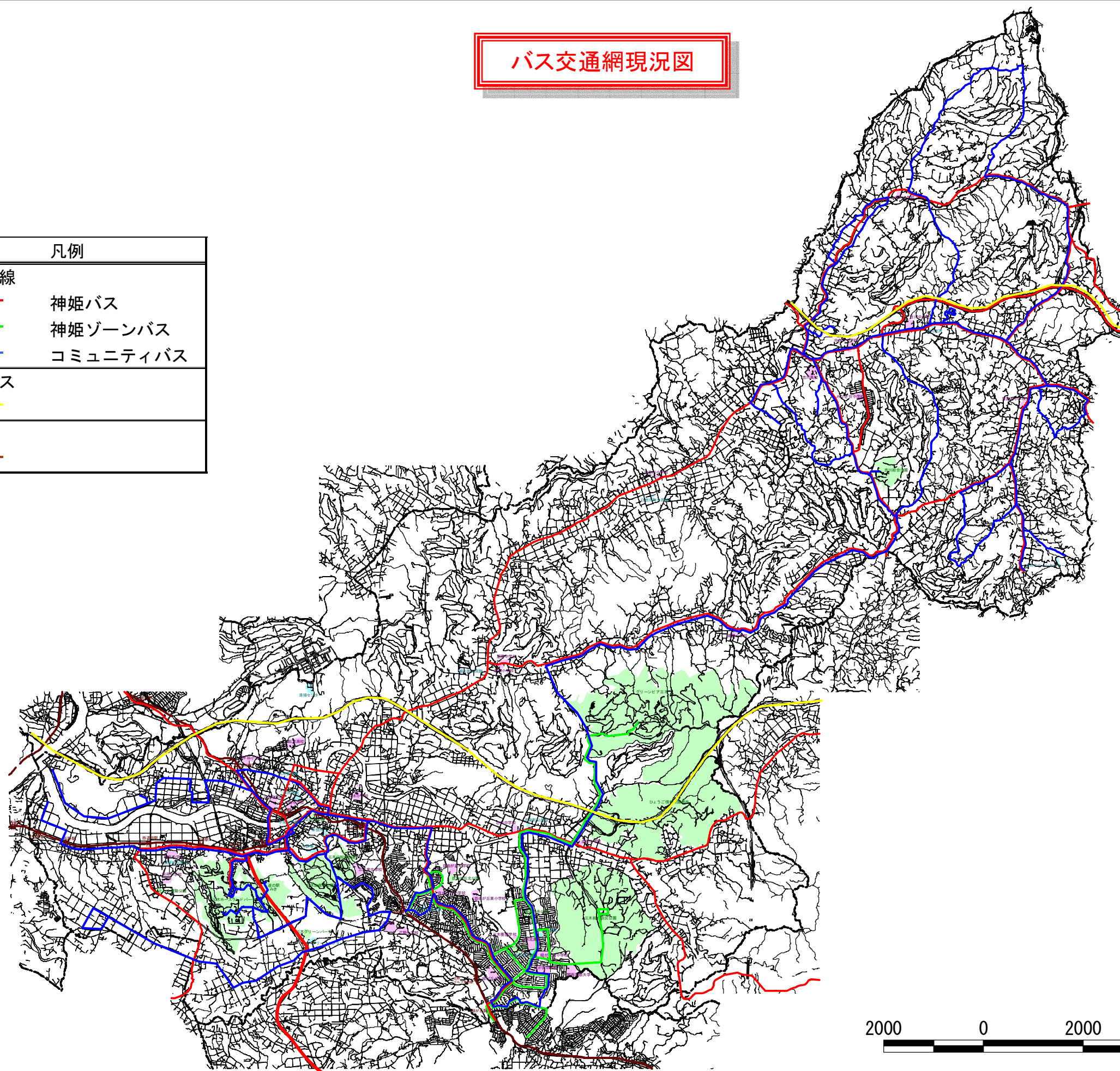
バス交通網現況図

別図－1

N



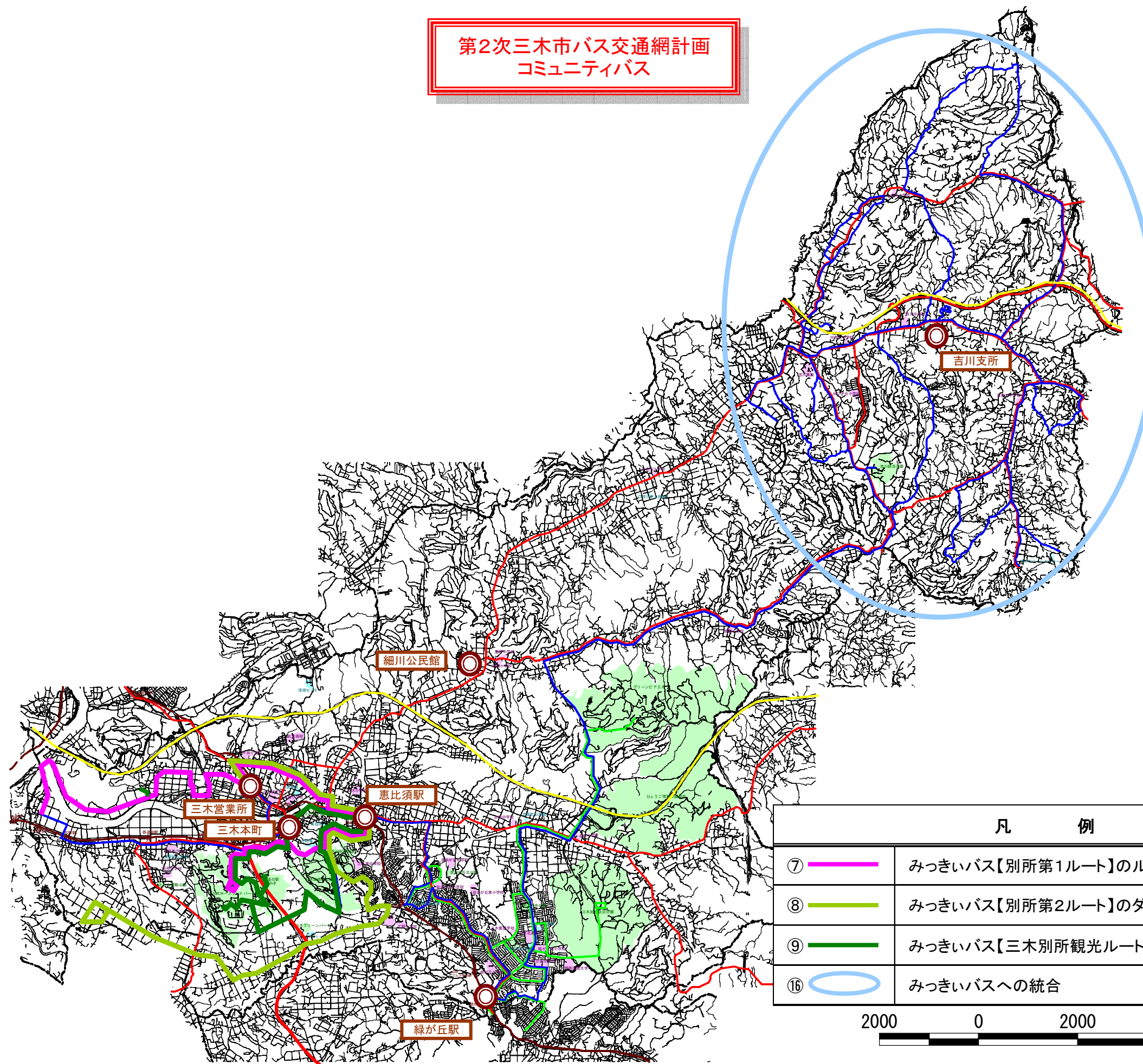
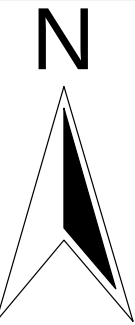
凡例	
バス路線	
—	神姫バス
—	神姫ゾーンバス
—	コミュニティバス
高速バス	
—	
鉄道	
—	



2000 0 2000 4000 6000 m

第2次三木市バス交通網計画
コミュニティバス

別図－2



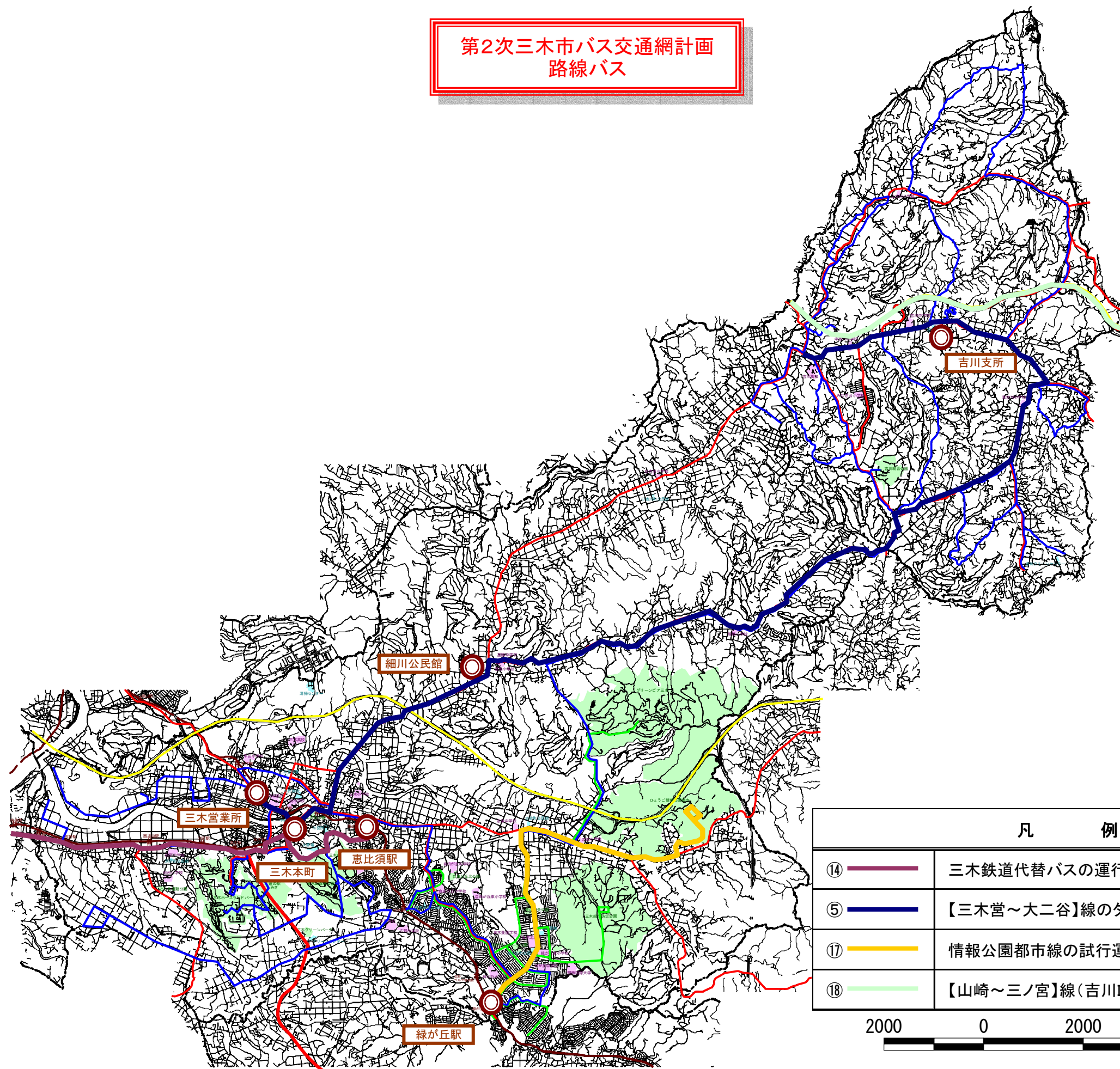
凡 例	
⑦	みっきいバス【別所第1ルート】のルート変更、ダイヤ改正
⑧	みっきいバス【別所第2ルート】のダイヤ改正
⑨	みっきいバス【三木別所観光ルート】のびダイヤ改正
⑯	みっきいバスへの統合

2000 0 2000 4000 6000 m

第2次三木市バス交通網計画
路線バス

別図－3

N



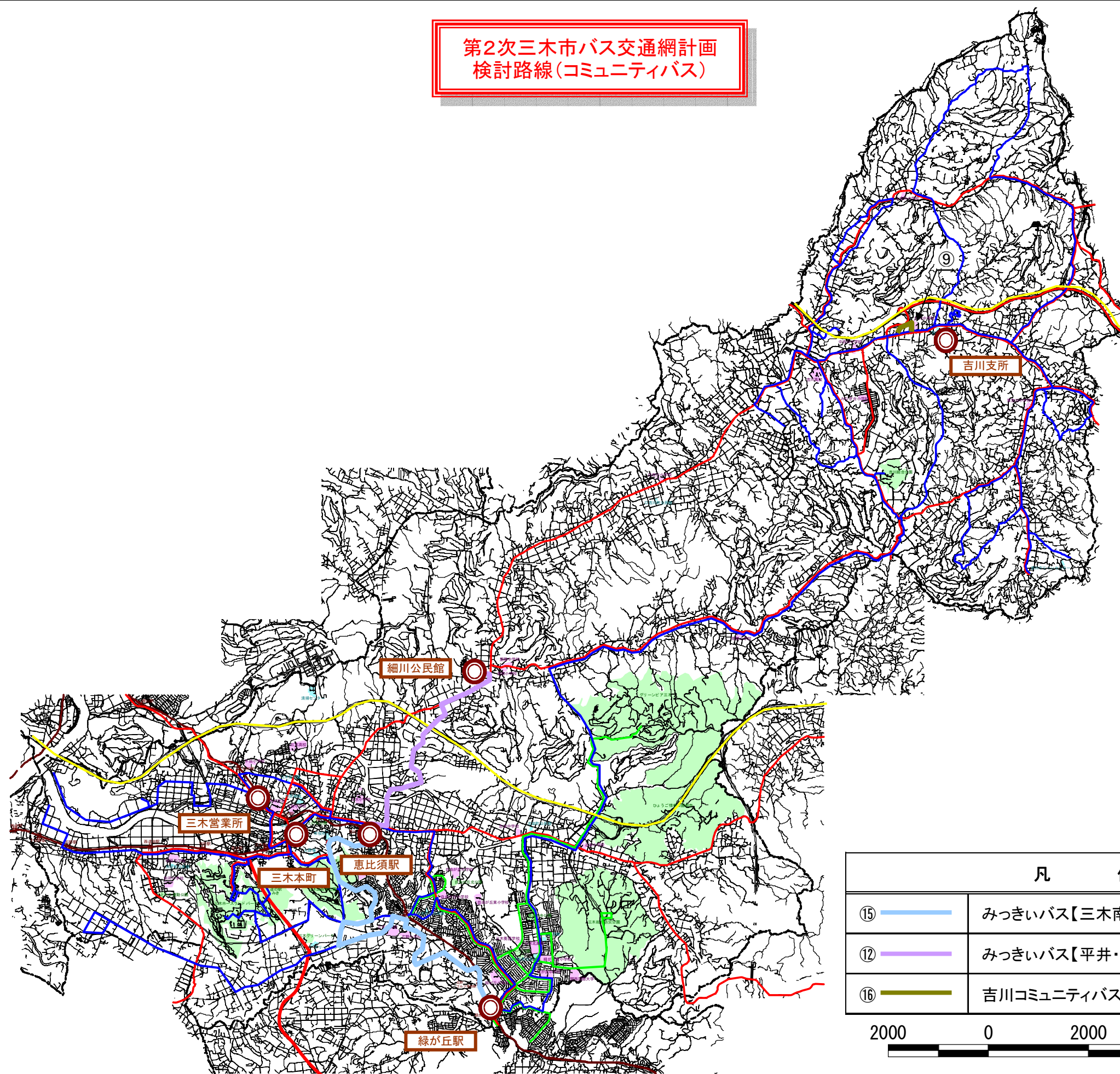
凡 例	
⑭	三木鉄道代替バスの運行開始
⑤	【三木宮～大二谷】線のダイヤ改正
⑰	情報公園都市線の試行運行開始
⑱	【山崎～三ノ宮】線(吉川ICバス停経由)の運行開始

2000 0 2000 4000 6000 m

第2次三木市バス交通網計画
検討路線(コミュニティバス)

別図－4

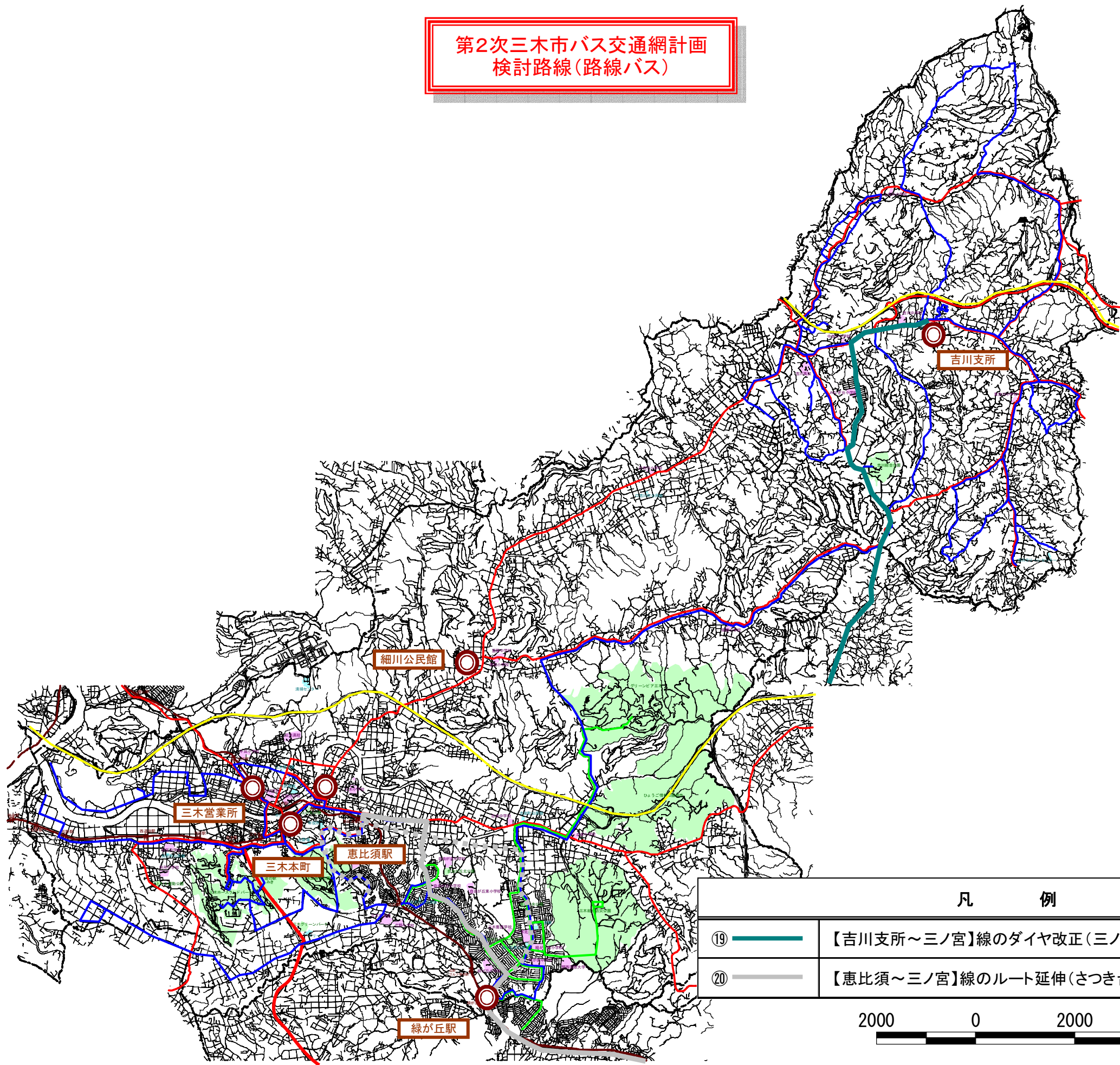
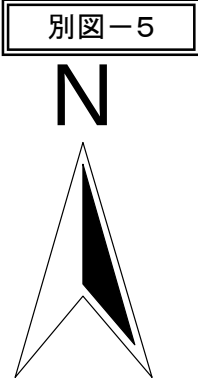
N



凡 例	
⑮	みっきいバス【三木南地区ルート】の運行開始
⑫	みっきいバス【平井・与呂木ルート】の運行開始
⑯	吉川コミュニティバスのルート変更

2000 0 2000 4000 6000 m

第2次三木市バス交通網計画
検討路線(路線バス)

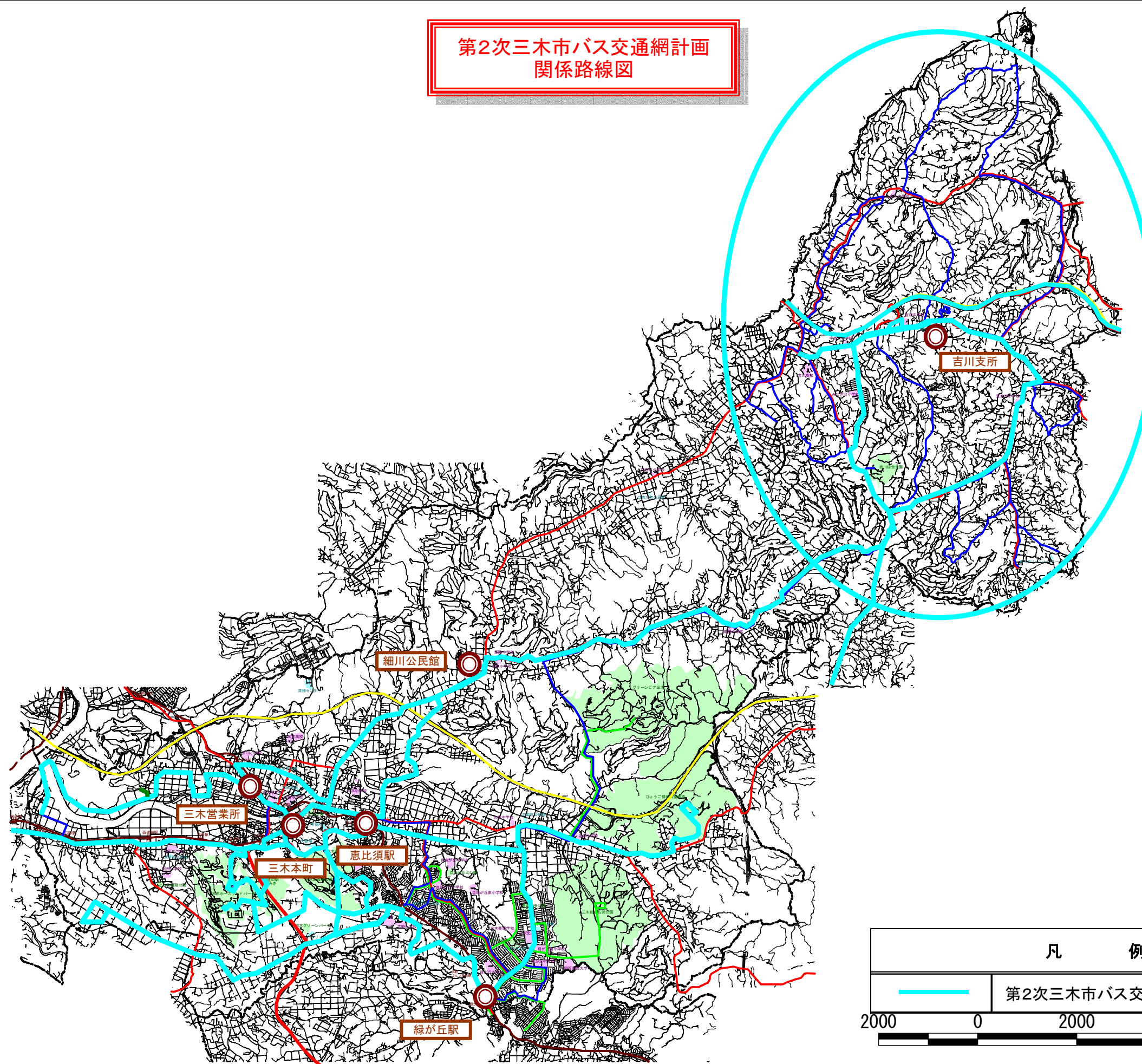


凡 例	
⑬	【吉川支所～三ノ宮】線のダイヤ改正(三ノ宮→吉川支所)
⑳	【恵比須～三ノ宮】線のルート延伸(さつき台、志染バイパス、青山)

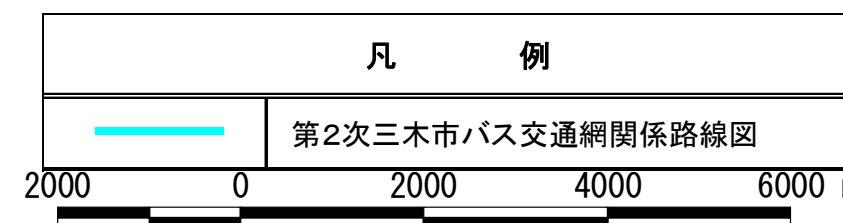




第2次三木市バス交通網計画
関係路線図



凡 例



第1次三木市バス交通網計画

付 録

付録1・・・・・・ 総合計画基本計画と公共交通

付録2・・・・・・ 意見交換会でのご意見

付録3・・・・・・ みつきいバス【別所第1、第2ルート】利
用者アンケート調査結果

付録4・・・・・・ バス路線と運行本数

第2章 まちづくり各論

第3節 うるおい景観のまち

政策17	公共交通機関の利便性の向上を図り、安心して移動できるまちをつくる。
------	-----------------------------------

【施策11】鉄道・バスが利用しやすい公共交通網を整える。

交通企画事業		
事業のねらい	安全に快適に移動するため、地域の公共交通ネットワークづくりを進める。	
事業内容	ア	自動車に頼らない移動手段の確保
	イ	公共交通活性化に関する調査研究
	ウ	交通結節点機能の強化
	エ	人口減少高齢化社会での公共交通のあり方の研究
	オ	三木鉄道の代替手段の確保

地域交通対策事業		
事業のねらい	市民生活の移動手段を確保するため、公共交通機関の利用を促進し、地域公共交通の維持・活性化を図る。	
事業内容	ア	公共交通機関の利用促進
	イ	地方バス路線の維持
	ウ	コミュニティバスの充実
	エ	都市間交通の維持（神戸電鉄）
	オ	高速バス、快速バスの充実

第3章 地域づくり計画（公共交通関係）

地区名	番号	地域づくり戦略	地域づくり事業
三木地区	3	こころふれ和みのまちづくり	路線バスの維持活性化、みっきいバスの運行による地域交通の利便性向上
	(2)	快適な生活環境をめざします	
三木南地区	1	みんながつどい笑顔あふれるまちづくり	路線バスの維持活性化、みっきいバスの運行によるサービスの充実
	(1)	地域交通の利便性を高めます	
別所地区	3	人が巡る 火とが遊ぶ にぎわいのまちづくり	地域バス交通網の充実
	(2)	人が巡るよう 地域交通、道路ネットワークを高めます	
志染地区	3	みんなで育てるふれあいのまちづくり	路線バスの維持活性化、みっきいバスの運行によるサービスの充実
	(1)	子ども、高齢者の交通手段の確保を進めます	
細川地区	2	いつまでも元気に暮らせるまちづくり	・路線バスの維持活性化、みっきいバスの運行によるサービスの充実 ・細川町公民館周辺のターミナル化
	(1)	子ども、高齢者の交通手段の確保を進めます	
緑が丘地区	3	子どもから年寄まで安全安心に暮らせるまちづくり	路線バスの維持活性化、みっきいバスの運行によるサービスの充実
	(5)	バス交通対策を進めます	
自由が丘地区	1	快適で美しく住みやすいまち	路線バスの維持活性化、みっきいバスのなどのサービスの向上の検討
	(1)	バス交通を充実します	
青山地区	3	みんなまもる安全みんなでつくる安全	住民とともに交通の便利なまちづくりを目指して「バス意見交換会」を開催し、よりよいバス運行サービス
	(2)	地域交通の利便性を高めます	
吉川地区	3	便利なくらしと安心安全のまちづくり	バス交通の充実
	(1)	便利にくらせるようにします	

ブロック	課題・意見	摘 要
三木 別所 地区	○ みっきいバスよかたん行の平日便を運行。 ○ みっきいバス三木地区循環ルート of 神鉄三木駅経由。 ○ 三木地区循環ルートの乗客が少ない。 ○ 観光ルートを道の駅やホースランドパークでのイベントと絡めてのPR。 ○ 三木鉄道代替バスで国包～厄神で廃線敷の走行。 ○ みっきいバス【別所第1ルート】のルート変更。(三木鉄道代替バスとの重複区間) ○ みっきいバス【別所第1ルート】のルート変更で、西這田～石野は三木鉄道代替バスを利用することとなるが、料金格差の是正。 ○ 【別所ルート】全体で乗客数が少ない。	
三木南地区	○ みっきいバスのルートについてもっとPRすべき。 ○ 三木南地区での移動手段の確保	
志染・細川・ 口吉川地区	○ 志染地区でのコミバスの運行（市役所・市民病院への直通便）→デマンドバス ○ バス停での環境面が良くない。 ○ 高畑地区でのスクールバスの運行。 ○ 【三木営～大二谷線】の乗客が少ない→（住民自ら）一度乗ってみる、地区でもPRする。 ○ 【三木営⇄三田、岡場、淡河線】のPRを行う。 ○ 路線バスの市役所方面への運行 ○ 路線バスの10時台の運行。 ○ 道路の路肩が狭いので、バス待ちを行うのに危険である。	

緑が丘 自由が丘 青山 地区	○ みっきいバスの運行時間の短縮 ○ ルート表示を分かりやすく。 ○ みっきいバスの行き先表示の改善 ○ 青山発西神行きの直通便の運行。 ○ みっきいバスへのＩＣカードシステムの導入。	
吉川地区	○ コミバスのフリー乗降 ○ デマンドバスの導入 ○ 吉川庁舎～三ノ宮線のダイヤ変更 ○ 吉川コミュニティバス→みっきいバス【吉川ルート】 ○ 路線バス【三田⇄大門線】の休止→関係地区との協議	

みっきいバス【別所第1、第2ルート】利用者アンケート調査結果

調査日：平成19年11月26日（月）及び27日（火）

調査方法：調査員（市職員及び神姫バス社員）ご乗込み全乗客に聞き取り

調査範囲：始発から終発までの全便

調査数：合計 49人

別所第1ルート 28名 … 11月26日（水）

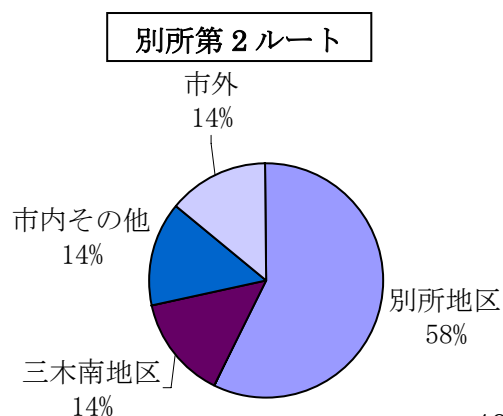
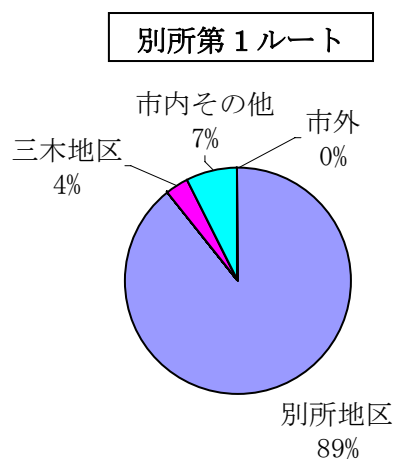
別所第2ルート 21名 … 11月27日（火）

調査項目

番号	質問内容	摘要
Q1	お住まいは？	地区名
Q2	停留所までの移動手段は？	交通手段
Q3	この後（バスを降りてから）の交通手段は？	〃
Q4	目的は？	旅行目的
Q5	目的地は？	
Q6	利用頻度は	
Q7	みっきいバス【別所ルート】を何でお知りになりましたか？	
Q8	みっきいバス【別所ルート】へのご意見	自由意見
Q9	性別は？	
Q10	年齢は？	

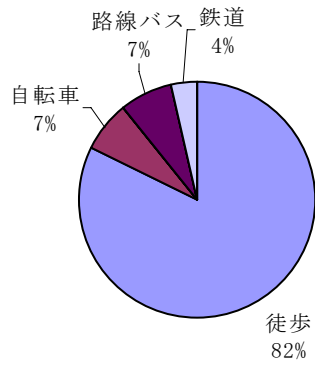
調査結果

Q1 お住まいは

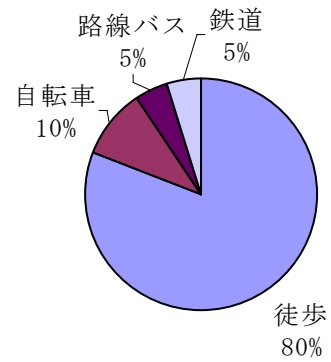


Q 2 停留所までの移動手段

別所第 1 ルート

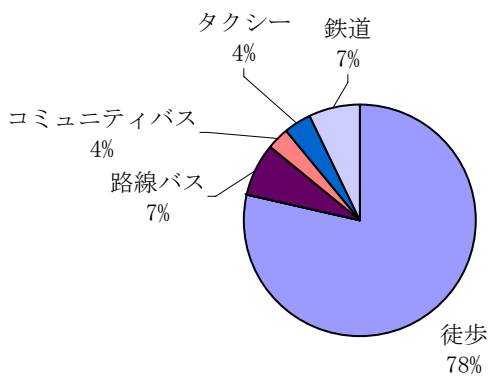


別所第 2 ルート

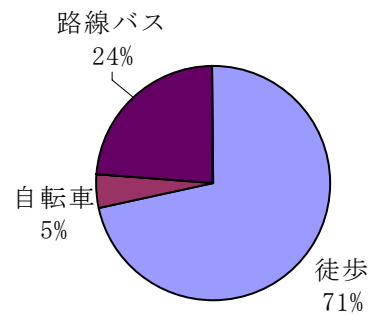


Q 3 この後の交通手段

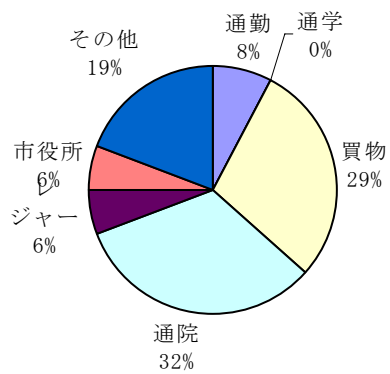
別所第 1 ルート



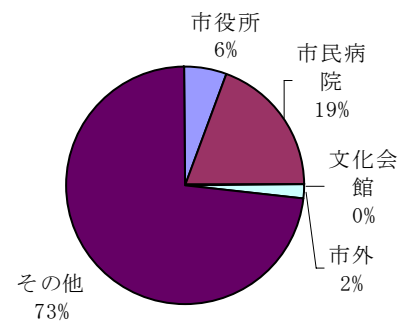
別所第 2 ルート



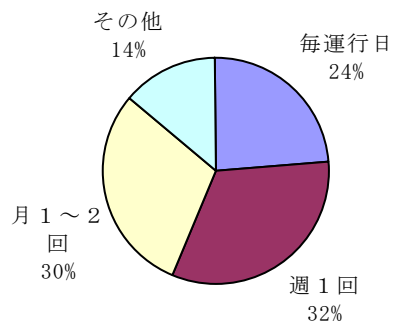
Q 4 利用目的



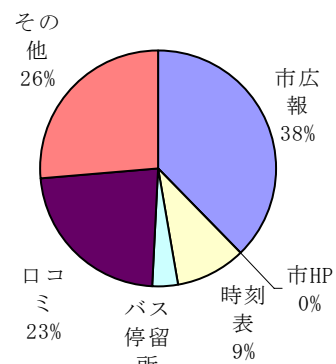
Q 5 目的地は



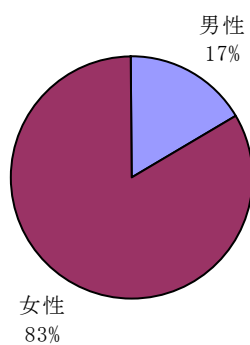
Q 6 利用頻度は



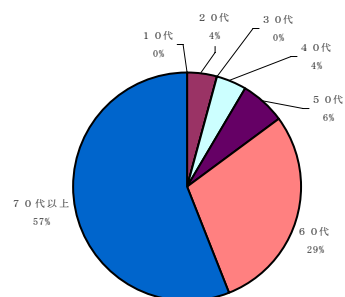
Q 7 何で知ったか



Q 9 性別

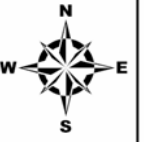


Q 10 年齢



Q 8 自由意見

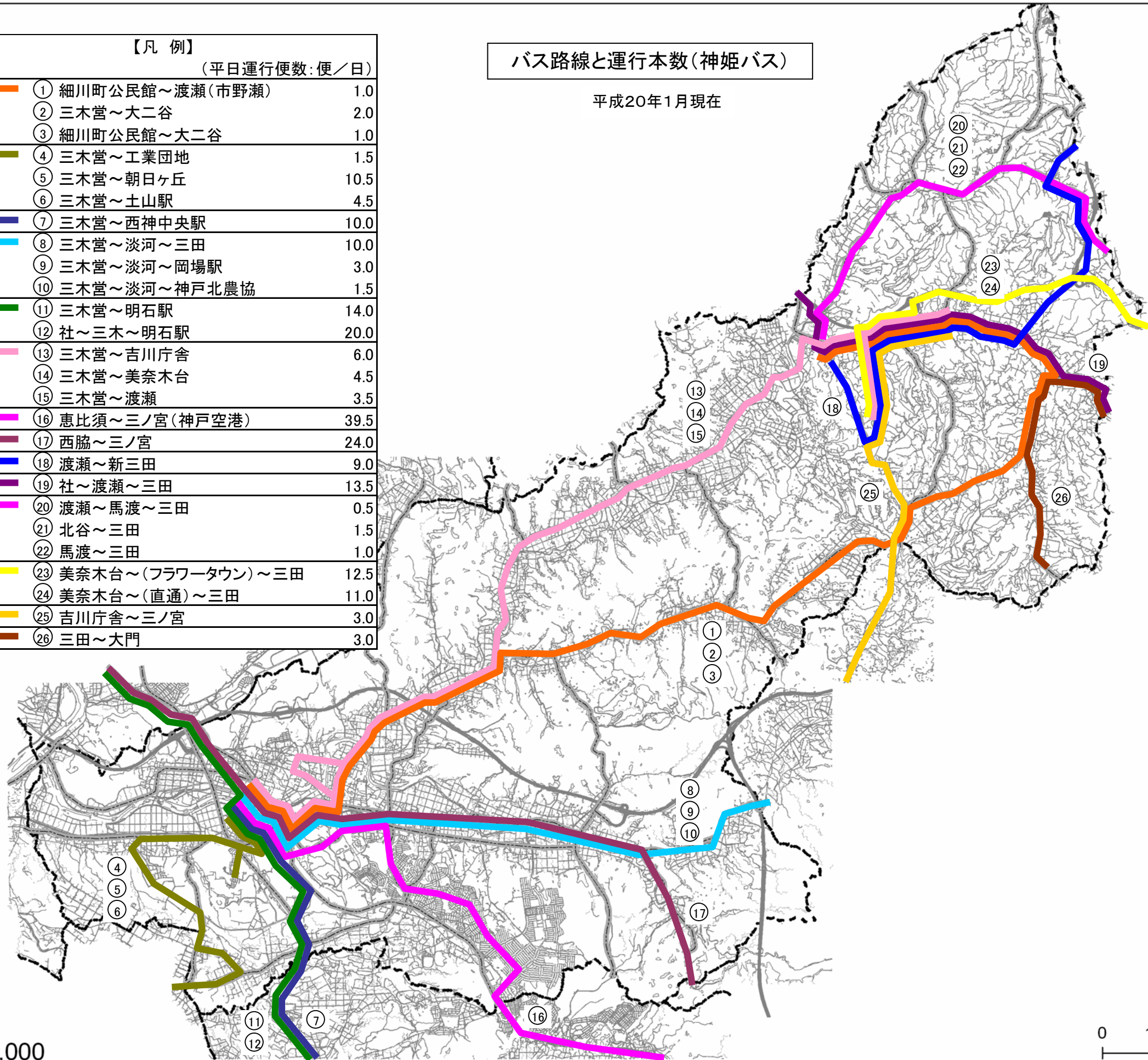
- ☐ 料金が安い。
- ☐ 便数を増やして欲しい。
- ☐ ダイヤを改正して欲しい。
- ☐ 続けて欲しい。
- ☐ 助かっている。
- ☐ バスの車内で友達が出来ました。



バス路線と運行本数(神姫バス)

平成20年1月現在

【凡 例】		
(平日運行便数: 便/日)		
①	細川町公民館～渡瀬(市野瀬)	1.0
②	三木宮～大二谷	2.0
③	細川町公民館～大二谷	1.0
④	三木宮～工業団地	1.5
⑤	三木宮～朝日ヶ丘	10.5
⑥	三木宮～土山駅	4.5
⑦	三木宮～西神中央駅	10.0
⑧	三木宮～淡河～三田	10.0
⑨	三木宮～淡河～岡場駅	3.0
⑩	三木宮～淡河～神戸北農協	1.5
⑪	三木宮～明石駅	14.0
⑫	社～三木～明石駅	20.0
⑬	三木宮～吉川庁舎	6.0
⑭	三木宮～美奈木台	4.5
⑮	三木宮～渡瀬	3.5
⑯	恵比須～三ノ宮(神戸空港)	39.5
⑰	西脇～三ノ宮	24.0
⑱	渡瀬～新三田	9.0
⑲	社～渡瀬～三田	13.5
⑳	渡瀬～馬渡～三田	0.5
㉑	北谷～三田	1.5
㉒	馬渡～三田	1.0
㉓	美奈木台～(フラワータウン)～三田	12.5
㉔	美奈木台～(直通)～三田	11.0
㉕	吉川庁舎～三ノ宮	3.0
㉖	三田～大門	3.0

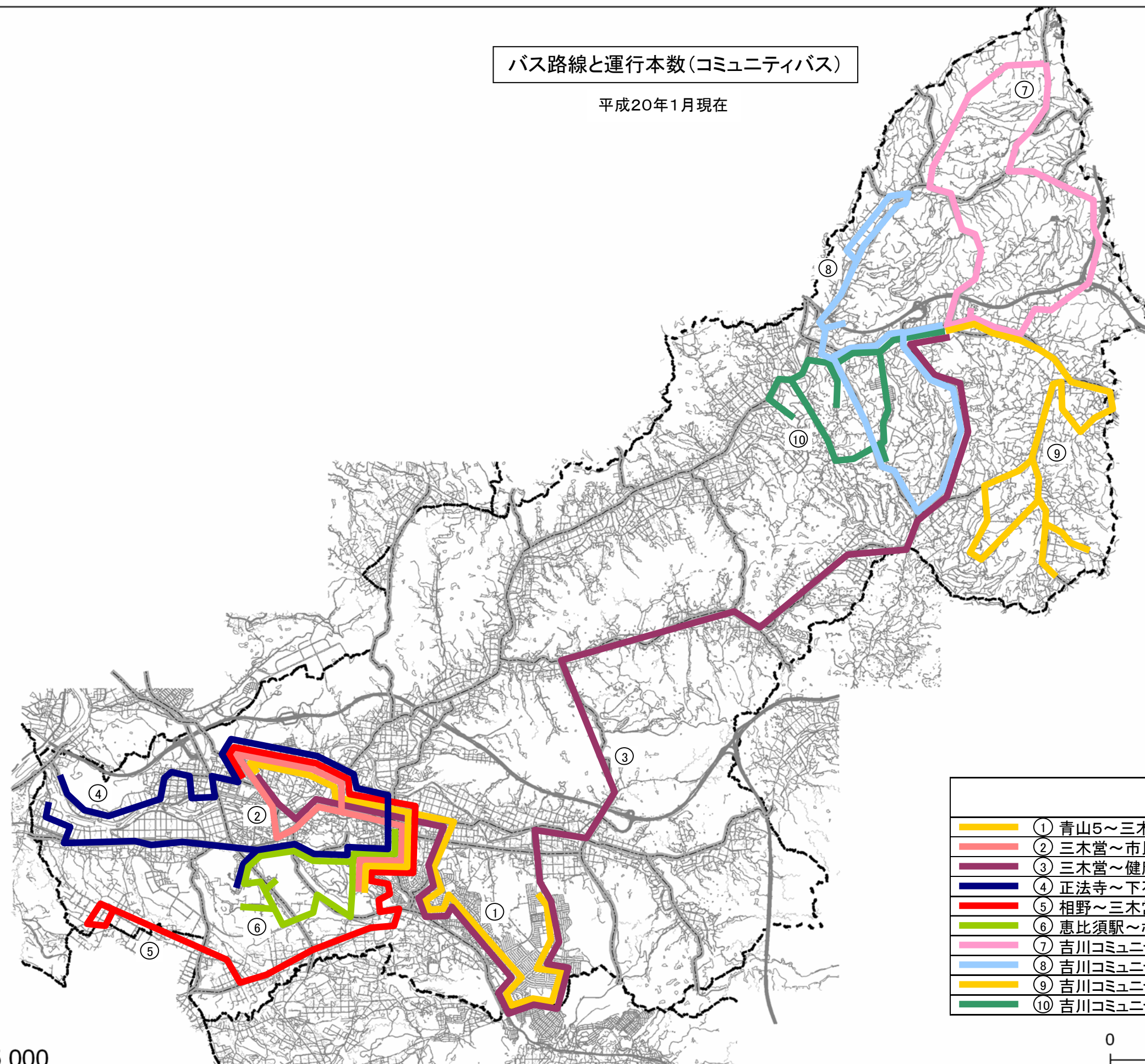


1:75,000

0 1,250 2,500 5,000 m

バス路線と運行本数(コミュニティバス)

平成20年1月現在



【凡 例】		
	(運行便数: 便/日)	
① 青山5～三木宮(平日便数)	7.5	
② 三木宮～市民病院～三木宮(平日便数)	7.0	
③ 三木宮～健康福祉センター[木・日]	2.0	
④ 正法寺～下石野[月・水]	3.0	
⑤ 相野～三木宮[火・金]	3.0	
⑥ 恵比須駅～ホースランド～恵比須駅[土・日]	9.0	
⑦ 吉川コミュニティ①[火・木・土]	4.0	
⑧ 吉川コミュニティ②[火・木・土]	4.0	
⑨ 吉川コミュニティ③[水・金・日]	4.0	
⑩ 吉川コミュニティ④[水・金・日]	4.0	

0 1,250 2,500 5,000 m

1:75,000

